## 「学修・評価項目」の主な変更点とその理由

頁		項目	変更前	変更後	理由
	C-1. 全身状能とバイタ	(0)	□ パルスオキシメータを装着し、経皮的動脈血酸素飽	3)経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO2〉	・新規課題として運用することになったた
18			和度〈SpO2〉を測定する。	□ 爪を観察し、パルスオキシメータを奥まで挿入す	め、項目を別建てにした。
		(9)バイタルサイン 2)呼吸		る。	・評価表に合わせて具体的な記載にした。
		2) 呼吸		□ 測定値が安定するまで十分な時間をかけてSpO2を	
				測定する。	
			□ 左(右)手を広げ、その中指の中節骨部またはDIP	□ 左(右)手を広げ、その中指の中節骨部またはDIP	・評価表の項目と合わせて2つに分けた。
26	C. 身体診察	(9) 肺(前胸部)	関節部を、曲げた右(左)中指で手首のスナップを効か	関節部を、曲げた右(左)中指で2回以上叩き、打診す	・表現が明瞭になるよう「原則として」の文
20	C-3. 胸部	2) 打診	せて弾むように原則として2回ずつ叩き、打診する。	<b>ప</b> .	言をなくし「2回以上」とした。
				□ 手首のスナップを効かせて弾むように打診する。	
	C. 身体診察	(3) 診察の順序と事前の注	(注)・・・可能な限り心窩部から恥丘、鼠径部までの	(注)・・・視診を行いながら、可能な限り心窩部から	腹部全体を視診することを徹底するととも
28	C-4. 腹部	意事項	範囲を診察できるようバスタオルなどを用いて、羞恥心	恥丘、鼠径部までを露出し、バスタオルなどを用いて、	に、模擬患者さんへの羞恥心に配慮するた
	O 4. //Q IIP	心乎久	に配慮する。	羞恥心に配慮する。	め。
28	C. 身体診察	(5) 聴診	膜型聴診器を押し当てて大動脈音を直上で聴取する。	膜型聴診器を押し当てて大動脈音を直上(上腹部正中付	大動脈音聴取部位を明確にするため。
	C-4. 腹部	3) 腹部の血管音の聴取		近)で聴取する。	
28	C. 身体診察	(5) 聴診	□ イレウスが疑われる場合には、	□ 腸閉塞やイレウスが疑われる場合には、	腸閉塞とイレウスが異なる病態として定義さ
	C-4. 腹部	4) *振水音を聴診する。			れているため。
			参考資料:「マクギーの身体診断学-エビデンスにもと	表を含めて全削除	既に第5版が出版されており、表内のデータ
31	C. 身体診察	(9)病態に応じた精密診察法	づくグローバル・スタンダード原著第2版」		も改訂されているため。また、表そのものが
0.1	C-4. 腹部	3) * 腹膜刺激徴候の評価	(診断と治療社、2009年)より引用		不要と判断。
			表		
43	C. 身体診察	【表1】	20 普通の呼びかけで容易に開眼する	20 大きな声または体を揺さぶることにより開眼する	・誤記を修正した。
	C-5. 神経				(here to see to be see to
65	D. 基本的臨床手技	(2) 医療安全		□ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど	・術語を正確なものに変更した。
	D-1. 一般手技	(a) +6 m/ l/ /	迷走神経反射の既往を尋ねる。	血管迷走神経反応の既往を尋ねる。	the extra section of the extra
66	D. 基本的臨床手技	(3) 静脈採血		□ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど	・
	D-1. 一般手技	1) 採血前の確認	迷走神経反射の既往を尋ねる。	血管迷走神経反応の既往を尋ねる。	Day 4 de la la
	D. 基本的臨床手技	(3) 静脈採血	□ 手袋を左右の手に着用する。	□ 手袋を左右の手に装着する。	・用語を統一した。
66	D-1. 一般手技	2) 採血手技(翼状針を用い			
		た真空管採血の場合)	ローズボナナナのブルギロナフ	ローズベナナナのブルサギナフ	ロニナゲ 1 よ
67	D. 基本的臨床手技	(3) 静脈採血	□ 手袋を左右の手に着用する。	□ 手袋を左右の手に装着する。 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	・用語を統一した。
67	D-1. 一般手技	<ol> <li>3) 採血手技(シリンジを用</li> </ol>			
	D 甘未的陈庄千壮	いた採血の場合)		(\\( \frac{1}{2} \)	・拉血に生むしたときの計加汁の記録がた
67	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(3) 静脈採血		(追加記載) 4) *血液を採取できなかった場合	・採血に失敗したときの対処法の記載がな かったため追加した。
	D-1. 一般于技 D. 基本的臨床手技		□ 道民カテーテル図署の旅行老け 減壊手機を差田す	,	
68	D. 基本的臨床子技 D-1. 一般手技	(5) 持続的導尿(男性)	□ 學成刀アーアル笛 e U m1] 有は、		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
<u> </u>	レー1・ 加スナガス		° 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	る。	

頁		項目	変更前	変更後	理由
	D #未的時亡壬廿	(5) 縫合	□ 手術用帽子を頭髪が露出しないように着用する。	□ 手術用帽子を頭髪が露出しないように装着する。	・用語を統一した。
70	D. 基本的臨床手技	1) 準備(以下の項目は必要	□ 手術用マスクを口・鼻・顎を完全に覆うように着用	□ 手術用マスクを口・鼻・顎を完全に覆うように装着	
	D-2. 外科手技	に応じて行う)	する。	する。	
73	D. 基本的臨床手技	(3) 12誘導心電図の記録	□ 次に胸部誘導を装着するために、胸骨角を触診し、	□ 次に胸部誘導を装着するために、胸骨角を触診し、	・表現を明確化した。
13	D-3. 検査手技	2) 心電図の記録	第2肋間を確認する。	第2肋間の位置を確認する。	
73	D. 基本的臨床手技	(3) 12誘導心電図の記録		(追加記載)	・手技を明確化した。
13	D-3. 検査手技	2) 心電図の記録		□ 触診で第3肋間、第4肋間の位置を確認する。	
73	D. 基本的臨床手技	(3) 12誘導心電図の記録	(注)隣り合う電極が接触しないように注意する。	削除	・表現が重複していたため削除した。
13	D-3. 検査手技	2) 心電図の記録			
73	D. 基本的臨床手技	(3) 12誘導心電図の記録	(注)隣接する部位のペーストが接合しないよう	(注) 隣接する電極および電極用のペーストが接合しな	・表現を明確化した。
	D-3. 検査手技	2) 心電図の記録	注意する。	いよう注意する。	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1) 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒	1) 擦式アルコール手指消毒薬など(以下、消毒薬)に	・文言を追加した。
		い		よる手指消毒	
75	E. 感染対策	1) 擦式アルコール手指消毒			
		薬など(以下、消毒薬)に			
		よる手指消毒			
		(=) 3 34/13/3 1/13=1/3 3 //3	(20~30秒程度を費やして十分に擦り込む)	(15~30秒程度を費やして十分に擦り込む)	・文言を変更した。
		い			
75	E. 感染対策	1) 擦式アルコール手指消毒			
		薬など(以下、消毒薬)に			
		よる手指消毒			
		( ) = 1,,,,,	□ 袖が邪魔にならないように前腕を十分に露出	□ 袖が邪魔にならないようにする。(例)袖をまくり両	・文言を追加した。
		()	する。	前腕を十分に露出するなど。	
75	E. 感染対策	1) 擦式アルコール手指消毒			
		薬など(以下、消毒薬)に			
		よる手指消毒			
		( ) = 1,,,,,	(1分間程度を費やして十分に洗う)	(30秒から1分間程度を費やして十分に洗う)	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	()			
		2) 流水による衛生的手洗い			
		(1) THW + 157 H-7	□ 手掌と手背と指間を丁寧に洗う。	□ 以下の6か所を意識して両手をよく洗う。	・文言を追加した。
75			□ 左右の墓誌を対側の手指で握り丁寧に洗う。	1.指先・爪部、2.手掌、3.手背、4.指間、5.母指周囲、6.手	
/5	E. 感染対策	いない。これを生物で生	□ 手掌で指先・爪部を丁寧に洗う。	関節周囲	
		2) 流水による衛生的手洗い		□ 母指と手関節部は対側の手で握り、ねじるように洗	
		(1) 手指沿事,海州的毛洪	□ 手関節の周囲まで洗い、洗い残しがないことを確認	フ。 □ 洗え筋囲け手関節の国用キズレナス	・立言を亦面した
75	口 成为分钟	(1) 于指用毎・開生的于洗   		口	・文言を変更した。
15	E. 感染対策		する。		
		2) 流水による衛生的手洗い			

頁		項目	変更前	変更後	理由
		( , = 1,	□ 石鹸による手洗いは、40秒以上を目安に洗う。		・削除した。
75	E. 感染対策	()			
		2) 流水による衛生的手洗い			. =
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄	□ 袖が邪魔にならないようにする。(例)袖をまくり両	□ 袖が邪魔にならないように前腕を十分に露出する。 ■	・文言を追加した。
		1) PPE装着前の準備	前腕を十分に露出するなど。		to I - to Males a la
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄	□ 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒	□ 消毒薬による手指消毒または衛生的手洗いを	・一部文言を削除した。
		2) PPEの装着	または衛生的手洗いを行う。	行う。	
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄		□ ガウン・エプロンを、患者に接する部分は触れない	・文言を追加した。
		2) PPEの装着	ロージャン・エプロン・ナウば、その切りとは、マルン	ように身体の前方で広げる。	<u>+=+ *=   +</u>
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄	□ ガウン・エプロンを広げ、首の部分を持ってかぶ	□ 首からかぶる、または、首ひもを結ぶ。	・文言を変更した。
		2) PPEの装着	る。	□ ガウン・エプロンの裾がまくれ上がらないように、	<b>ウラも亦正し</b>
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	□ 体幹部を覆う。	と 装着する。	・文言を変更した。
		(2) PPEの表有 (2) PPEの着脱と廃棄	□ 腰ひもを後ろで結ぶ。	表有 9 つ。 □ 腰ひもを適切に結ぶ。	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの看版と廃棄 2) PPEの装着		□ 接ひもを適切に結ぶ。	・又言を変更した。
		(2) PPEの表有 (2) PPEの着脱と廃棄	□ 休幹部が悪われているマレ・非部のひもが結ばれて	□ 身体が覆われていること・ひもが結ばれていること	・立言を亦再した
75	E. 感染対策	2)PPEの装着	いることを鏡で確認する。	を鏡で確認する。	・大吉を友史した。
		2) 11 20 数相	□ マスクと帽子を着用する。	□ マスクと帽子を着用する。	・文言を追加した。
	E. 感染対策	<ul><li>(2) PPEの着脱と廃棄</li><li>2) PPEの装着</li></ul>		□ サージカルマスクのノーズワイヤを顔の形に押し当	入日と追加した。
75			クの着用	て、隙間なくフィットさせる。	
15	L. & X / 1 / X			□ 頭髪、鼻・□・顎が確実に覆われていることを鏡で	
				確認する。	
		L (2) PPEの着脱と廃棄		□ 使用後のPPEの表面は汚染されているものとして、	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	3) PPEの脱衣と廃棄		表面に触れないよう注意する。	X1 0 23 0 70
			□ 手袋の手首に近い外(そと)側をつまむ。	□ 一方の手袋の手首に近い外(そと)側をつまんで中	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2)PPEの着脱と廃棄	□ 手袋の外(そと)側をつまんで片側の手袋を中表に		
		3)PPEの脱衣と廃棄	して外す。		
			□ 手袋を着用している手で外した手袋を持っておく。	□ 外した手袋で手指が汚染しないように感染性廃棄物	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄		として廃棄する。(注)外した手袋をもう一方の手で丸	
	- 70/1/1/1/	3) PPEの脱衣と廃棄		めて保持してもよい。	
		(a) 555 - <del>V</del> 57 1 - <del>-</del> -	□ 手袋を脱いだ手の指先を、もう一方の手首と	□ 手袋を外した手の指先を、もう一方の手首と手袋の	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄	手袋の間に滑り込ませ、そのまま引き上げるように	間に滑り込ませ、手指が汚染しないように中表にして外	
		3)PPEの脱衣と廃棄	して脱ぐ。	す。	
			□ 2枚の手袋をひとかたまりとなった状態で感染性廃	□ 外した手袋を感染性廃棄物として廃棄する。(注)	・文言を変更した。
7.0	E. 感染対策	(2)PPEの着脱と廃棄	棄物として廃棄する。	丸めて保持している側の手袋を外して、2枚の手袋をひ	
76		策 3) PPEの脱衣と廃棄		とかたまりとし、感染性廃棄物として廃棄する方法もあ	
				る。	
		i .		·	

頁		項目	変更前	変更後	理由
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		□ 手袋を廃棄した後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	□ 後ろの腰ひもを切る。	□ 腰ひもを外す。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2)PPEの着脱と廃棄 3)PPEの脱衣と廃棄	□ ガウン・エプロンの患者に接する部分に触れないようにそと側を中にして折り込み、小さくまとめる。 □ 使用後のガウン・エプロンは、感染性廃棄部として 廃棄する。	□ ガウン・エプロンの患者に接する部分に触れないように、そと側を中にして折り込み、感染性廃棄物用ゴミ箱に入るようにまとめて、適切に廃棄する。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		□ 廃棄する際、感染性廃棄物用ゴミ箱内に直接、手を 入れない。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2)PPEの着脱と廃棄 3)PPEの脱衣と廃棄		□ ガウンを廃棄した後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	□ 帽子を廃棄する。	□ 帽子を適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を 行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	<ul><li>(2) PPEの着脱と廃棄</li><li>3) PPEの脱衣と廃棄</li></ul>	□ アイプロテクション(ゴーグルなど)を外す際はツルまたはヘッドバンドの部分を左右の手で掴んで外す。	□ アイプロテクションを外す際は、ツルまたはヘッド バンドの部分を左右の指でつまんで外す。外した後は消 毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	<ul><li>(2) PPEの着脱と廃棄</li><li>3) PPEの脱衣と廃棄</li></ul>		□ 帽子を適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	□ マスクを廃棄する。	□ マスクを適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	<ul><li>(2) PPEの着脱と廃棄</li><li>3) PPEの脱衣と廃棄</li></ul>	□ 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒 または衛生的手洗いを行う(必要に応じて、脱衣の 途中にも行う)。	□ 上記の各ステップにおいて手指の汚染の可能性がある場合は、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2)PPEの着脱と廃棄 3)PPEの脱衣と廃棄		□ PPEを廃棄する際は、感染性廃棄物のゴミ箱からは み出さないよう、適切に廃棄する。 (注) 感染性廃棄物 がゴミ箱からはみ出した場合は、手袋を装着して専用の ゴミばさみを用いてゴミ箱内に廃棄する (スタッフに依 頼してもよい)。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(3) 清潔操作 1) 準備、帽子・マスクの装 着		□ 必要に応じて袖が邪魔にならないように前腕を 十分に露出する。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(3) 清潔操作 1) 準備、帽子・マスクの装 着	□ サージカルマスクを口・鼻・顎を完全に追うように着用する。 □ サージカルマスクのノーズワイヤ部分が鼻筋に密着するように軽く押す。	□ サージカルマスクのノーズワイヤを顔の形に押し当て、隙間なくフィットさせる。	・文言を変更した。

頁		項目	変更前	変更後	理由
		(3) 清潔操作	□ 頭髪、鼻・口・顎が完全に覆われていることを鏡で	□ 頭髪、鼻・□・顎が確実に覆われていることを鏡で	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	1) 準備、帽子・マスクの装	確認する。	確認する。	
		着			
7.0		(3) 清潔操作	□ 必ず擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒を行	□ 消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	2) 手指消毒・衛生的手洗い	う。		
7.0		(3) 清潔操作	《参照》E. 感染対策(1)手指消毒1)擦式アルコール	《参照》E. 感染対策(1)手指消毒1)擦式アルコール	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	2) 手指消毒・衛生的手洗い	手指消毒薬による手指消毒	手指消毒薬など(以下、消毒薬)による手指消毒	
77		(3) 清潔操作	手袋の装着	滅菌手袋の装着	・文言を変更した。
11	E. 感染対策	4) 滅菌手袋の装着			
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作	□ 左手の4本の指を右側手袋の折り返しの部分に(表	□ 滅菌手袋を装着した左の手指を右側手袋の折り返し	・文言を変更した。
11	E. 恐栄刈束	4) 滅菌手袋の装着	面に当たる部分)に入れて取り上げる。	の部分(表面に当たる部分)に入れて取り上げる。	
77	E 成为计学	(3) 清潔操作	*処置範囲の消毒など	手術・処置の皮膚消毒	・文言を変更した。
11	E. 感染対策	5) 手術・処置の皮膚消毒			
77	F 成为.计算	(3) 清潔操作		□ 消毒範囲の皮膚の観察(発赤・腫脹・滲出液など)	・文言を追加した。
11	E. 感染対策	5) 手術・処置の皮膚消毒		を行う。	
77	F 成为分类	(3) 清潔操作		□ 消毒薬に対する過敏性を尋ねる。	・文言を追加した。
11	E. 感染対策	5) 手術・処置の皮膚消毒			
77	E 成为计学	(3) 清潔操作		□ 手術・処置等を行う部位に対して消毒する範囲を決	・文言を追加した。
' '	E. 感染対策	5) 手術・処置の皮膚消毒		める。	
		(2) 连初44/-	□ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬	□ 皮膚消毒薬を十分に含んだ綿球などを容器から適切	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作	(7.5%ポビドンヨードなど)を十分に含んだ綿球など	に取り出す。	
		5) 手術・処置の皮膚消毒	を容器から取り出す。		
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作	□ 処置を行う部位の中心より外(そと)側へ向かい同	□ 消毒する範囲の皮膚に塗り残しがないように消毒薬	・文言を変更した。
11		5) 手術・処置の皮膚消毒	心円を描きながら広範に消毒薬を皮膚に塗り込む。	を塗る。	
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作	□ 消毒薬の乾燥後、滅菌シーツで処置を行う部位の周	□ 消毒薬の乾燥後、滅菌シーツ・皮膚ドレッシング材	・文言を変更した。
11	C. 恐笨刈束	5) 手術・処置の皮膚消毒	囲を被う。	などで皮膚を被う。	
77	F 成为计算	(3) 清潔操作	処置後	手術・処置後の物品廃棄	・文言を変更した。
11	E. 感染対策	6) 手術・処置後の物品廃棄			
			□ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安	□ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安	・文言を変更した。
			全に廃棄する。使用した手袋・ガウン・縫合糸など、血	全に廃棄する。使用した手袋・ガウン・縫合糸など、血	
			液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄	液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄	
77		(3) 清潔操作	する。手袋の包装紙など、血液・体液による汚染のない	する。	
//	E. 感染対策	6) 手術・処置後の物品廃棄	ゴミは、非感染性廃棄物として、分別して廃棄する	□ 手袋の包装紙など、血液・体液による汚染のないゴ	
				ミは、非感染性廃棄物として、分別して廃棄する。手袋	
				をしたまま触れた包装紙などは感染性廃棄物として廃棄	
				する。	
77 E	E = 1.75 ± 1.775	(3) 清潔操作	□ 手袋を外した後に手指消毒を行う。	□ 手袋を外して廃棄した後に、手指消毒を行う。	・文言を変更した。
	E. 感染対策	6) 手術・処置後の物品廃棄			

頁	項	ĪΕ	変更前	変更後	理由
77	E. 感染対策 2)	クニック	□ 手洗い用消毒液 (7.5%ポビドンヨード, 4クロルへキシジンなど) により指間、指先に注意を払いながら手指から肘まで手もみ洗いする。	□ 手洗い用消毒液により指間、指先に注意を払いながら手指から肘まで手もみ洗いする。 (注)手洗い石鹸で手洗いを行うこともある。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策       3)         に。	クニック	□ 介助者に右肩ひもを持ってもらい、左手で左肩ひもを持ってガウンを広げながら、介助者に触れないように 注意して袖口へ向かって右手を挿入する。。	□ 介助者に右肩ひもを持ってもらい、介助者に触れないように注意して袖口へ向かって右手を通す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策       3)         に。	, - ,,, , - ,, -	□ 介助者に左肩ひもを持ってもらい、介助者に触れないように注意しながら袖口へ向かって右手を挿入する。	□ 介助者に左肩ひもを持ってもらい、介助者に触れないように注意しながら袖口へ向かって左手を通す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策       3)			□ 介助者に後ろでガウンの肩と腰のひもを結んでもらい、正面のひものタグを外す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策       3)		□ 左手が背部に触れないように注意してひもを左から右に回し、それを右手で受ける。	□ 正面のひものタグを介助者に渡し、身体を回転させ、ひもを清潔に取る。	・文言を変更した。
78	テ: E. 感染対策 3) に。	4) 手術時手洗い・ガウン クニック 滅菌ガウンの装着(施設 より手順が異なることが る)	□ 身体前面でひもを結びガウンで全員を覆う。	□ 身体の前面(または側面)でひもを結ぶ。	・文言を変更した。
78	テ: E. 感染対策 3) に。 あ:	クニック 滅菌ガウンの装着(施設 より手順が異なることが る)	□ 滅菌がウン装着後の清潔状態を保つ。	□ 滅菌手袋・ガウンの装着中・装着後は、清潔状態を 保つ。	
78	E. 感染対策 テ	クニック	□ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬 (7.5%ポビドンヨードなど)を十分に含んだ綿球など を容器から取り出す。	□ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬を 十分に含んだ綿球などを容器から取り出す。	・文言を変更した。

頁		項目	変更前	変更後	理由
78		<ul><li>(4) 手術時手洗い・ガウンテクニック</li><li>5) 手術後の物品廃棄</li></ul>	手術後	手術後の物品廃棄	・文言を追加した。
78		(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 5) 手術後の物品廃棄	□ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安全に廃棄する。使用した手袋・ガウンなど、血液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄する。	□ 手袋・ガウン等の表面は汚染されているため、脱 衣・廃棄の際は表面に触れないよう注意する。	・文言を変更した。
78		<ul><li>(4) 手術時手洗い・ガウンテクニック</li><li>5) 手術後の物品廃棄</li></ul>	□ 手袋をはずした後に手指消毒を行う。	□ 手袋をはずした後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
79	F. 救急	(2) 成人への心肺蘇生法 4) 呼吸と脈拍を確認する	□ 患者さんの、①呼吸の観察、②脈拍の有無の確認を 行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	□ 患者さんの呼吸の観察と脈拍の有無の確認を同時に 行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	・あいまいさを修正した。
80		(2) 成人への心肺蘇生法 8) AED (自動体外式除細動 器)を使用する	□ 電極パッドを患者さんの右上前胸部(鎖骨下)と左 下側胸部(左乳頭外側下方)の皮膚に直接貼る。	□ 電極パッドを患者さんの右上前胸部(鎖骨下)と左 下側胸部(左乳頭外側下方)の皮膚に直接貼る。未就学 児用モードまたは未就学児用電極パッドを用いてはなら ない。	・禁止項目を明示した。
81	F. 救急	(5) 意識障害への初期対応 4) 呼吸と脈拍を確認する	□ 患者さんの、①呼吸の観察、②脈拍の有無の確認を 行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	□ 患者さんの呼吸の観察と脈拍の有無の確認を同時に 行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	・あいまいさを修正した。